

第37回日本中東学会年次大会オンラインミーティング

参加者向けガイド

2021/05/08

はじめに

本ガイドは第37回日本中東学会年次大会において、主に当日の議事進行や業務分担に関する一般参加者向けの資料です。

なお Zoom ミーティングの操作など技術的な内容については別途「Zoom オンラインミーティングマニュアル」を参照ください。

ミーティングへの参加

本ミーティングには「第37回日本中東学会年次大会ポータルサイト」

(http://www.james1985.org/members_area/auth-annual/37th/index.html) 上の、

「5/16 個人研究発表・企画セッション」(http://www.james1985.org/members_area/auth-annual/37th/auth/auth-meeting.html) からアクセスします。

アクセス時に ID とパスワードが求められますが、事前に大会事務局から案内した内容をご入力ください。なおメールが届いていない等、確認できない場合は大会事務局までご連絡ください。

個人研究発表・企画セッションタイムテーブル						
個人研究発表 午前の部						
	第1部会	第2部会	第3部会	第4部会	第5部会	第6部会
9:00-9:40	ハルドゥーン・フセイン 「History of the Fatwas of Takfir since the Abbasid Caliphate and its political influence. The Fatwas of Ibn Taymiyyah as an example」	モハンマド・ファトヒー (東京外国語大学) 「Zoom及びG Suiteを用いたアラビア語のオンライン授業の取り組み」	白谷愛 (愛知県立大学) 「モロッコにおける分断的な政治領域の形成と再生産」	濱田聖子 (東京大学) 「9世紀における書寫執筆の遺相：ジャーヒズを例として」	外山健二 (山口大学) 「ホイットマンとスーフイズム」	幸加木文 (千葉大学) 「トルコの人権問題に関する議論の批判的検討」
9:40-10:20	堀井聡江 (桜美林大学) 「効果判決と有効判決—イスラーム訴訟法における裁判力」	竹田敏之 (京都大学) 「現代アラビア語における「標準」とは何か：クルアーン読誦流派の影響とその実証的考察」	木戸純平 (東京外国語大学) 「外部介入を招く外交のコンシステンシーとインコンシステンシー：2000年以降のシリアを事例に」	辻大地 (九州大学) 「アッバース朝期イスラーム社会における「異性装」」	本間流星 (京都大学) 「植民地期南アジアにおけるスーフイズム思想：アシュラフ・アリー・ターナヴィーの存在一性論とイブン・アラビー論議の論議」	小山友 (千葉大学) 「オランダの親トルコ政策に対する再評価：2021年3月の下院議会選挙における動向と選挙結果を中心に」
10:40-11:20	藤田知雄 (東京外国語大学) 「サード朝期ハマラ地方の「駆け落ち騒動」から見る山村の法学者」	アルモームン・アブドラー (東海大学) 「日アラビア語によるテキスト翻訳に見る異文化伝達とそのアプローチ」	ケイワン・アブドリ (神奈川大学) 「イスラーム革命防衛隊」とイラン経済：「経済アクターである軍隊」の一事例	成地基太 (明治大学) 「オスマン帝国におけるチェルケス人難民と地方住民との衝突：1860年代後半のラズスタン県知事文書にみるバトゥミ郡の事例」	福永浩一 (上智大学) 「イスラーム中道派思想家によるスーフイズム論議」	小島安 (早稲田大学) 「バルギーのムスリム若者における宗教実践と初級タリフ」
11:20-12:00	平寛多朗 (日本学術振興会) 「チュニジアの中等学校におけるアラビア語教育」	村上武則 (京都大学) 「クルド語の定義とその操作」	徳永佳晃 (東京大学) 「イランにおける議会政治の再始動：第1次ガフアーム内閣 (1921-1922) の財政改革」	矢本彩 (明治大学) 「オスマン帝国における1909年「3月31日事件」および「火山」紙の政治的側面」	早川英明 (東京大学) 「レバノンの共産主義者たちはキリスト教徒をどのように表象したか」	望月英 (京都大学) 「ヨーロッパにおけるシリア難民の社会的包摂：病風とシディンシップをめぐって」
休憩						
企画セッション「文学をとおしてアラビア語を教える」						
13:30-15:00	司会： 発表者： コメンテーター：	柴谷温子 (慶應義塾大学) 近藤久美子 (大阪大学) 「日本文学作品のアラビア語翻訳について」 オーハン・エルマス (セント・アンドルーズ大学) 「Teaching Arabic through the Nights (英語による発表)」 モハンマド・ファトヒー (東京外国語大学) 「リーディング教材をコミュニケーション・アルハキームの作品を使った授業実践」 ハルドゥーン・フセイン (東京外国語大学)				
個人研究発表 午後の部						
	第1部会	第2部会	第3部会	第4部会	第5部会	第6部会
15:10-15:50	ヘバクッター・オマル (名古屋大学) 「アラブの語り物をめぐる考察—ジェンダーの向こうまで」	岡崎英樹 (四天王寺大学) 「10世紀のアラブ文学における5分類」	鈴木慶彦 (大阪経済法科大学) 「トルコの移民難民統合に関する批判的一考察：国民社会との「調和 (Uyum)」をめぐる問いから」	田中雅人 (東京大学) 「レバノン山地特別県のみスタッフ—アルスランとその一族：19世紀後半から20世紀初頭のドルズ派有力者とオスマン朝」	渡邊文佳 (早稲田大学) 「アッラーフ・アル＝ファースイのマジック講演にみる千回コ・ナシヨナリズムの主張」	李真恵 (イ・ジン) (日本学術振興会) 「中央アジアにおける多民族共存とエスニックマイノリティ：カザクスタンの高麗人 (コリョ・サラム) を事例に」
15:50-16:30	-	柴谷温子 (慶應義塾大学) 「アラビア語エジプト方言の従属節におけるテニス・アスベクト」	小林和香子 (独立研究者) 「イスラエル人女性による平和運動 "Women Wage Peace" の視察」	坂田舞 (九州大学) 「オスマン帝国末期における植民族女性観に関する考察」	岡崎弘樹 (日本学術振興会) 「シリアの作家は暴力とレイシズムの「反復」をいかに理解したのか？」	相原翠 (日本学術振興会) 「ハラール産業研究の視座と対象：イスラーム経済・イスラーム法・食の多文化共生」

ページ内「タイムテーブル」より、発表者の氏名をクリックすると当該の Zoom ミーティングルームに移動します。

ミーティング開始前

発表前の準備事項

参加者は研究発表開始に間に合うよう、ミーティングルームに入室してください。なお遅れて入室した場合、発表者の配布するハンドアウト資料などをチャットで受け取れないかもしれません（後述）。

名前の変更：

各ミーティングルームで誰が参加しているかがわかるように、必ず日本中東学会の名簿にある名前が表示されるように名前の変更をしてください。

操作方法：

ミーティング画面下「参加者」ボタンをクリック、参加者一覧から自分の名前にカーソルを動かし右側に表示された「詳細」をクリック。

「名前の変更」をクリックすると新規表示名が入力できます。

Zoom の環境設定

ミーティング前に以下の項目について確認をします。

1) オーディオのテスト

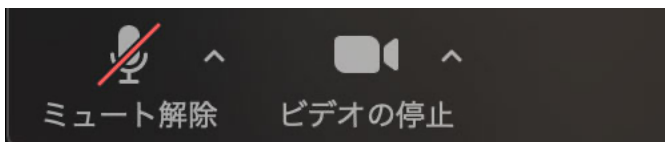
「コンピューターオーディオのテスト」を実施してマイク、イヤホンが正常に作動するか確認してください。



2) 待機状態

マイク、ビデオをオフの状態にして待機状態にしておきます。

Zoom 操作画面の左下、「ミュート」「ビデオの停止」ボタンをそれぞれクリックします。



その他

発表時の邪魔にならないよう、PC のメール通知などの設定はオフにしましょう。特に音声共有しているばあいは着信音も共有されてしまいます。

ミーティング開始

1つの研究発表は40分間ですが、うち発表時間は30分、残りの時間で質疑応答を想定しています。

ミーティング開始中もマイクはオフの状態にします。あやまってオンになっている場合、司会者補佐が強制的にミュート（消音）することもあります。

資料の配付

開始後、発表者からハンドアウトなどの資料がある場合はチャットウィンドウより送付されます。

なお遅れてミーティングルームに入室した場合、それ以前のチャット履歴を閲覧することができないため、司会者補佐にチャットウィンドウ経由で資料の送付を依頼ください。

質疑応答

発表が終了すると、そのまま質疑応答に移行します。

質疑応答は以下の進行ですすめられます。

- ・ 質疑応答は挙手ボタンを押下するか、挙手の姿をカメラに見せることで質問・コメントの意志を示すものとします。
- ・ 司会者が口頭で質問の順番を割り振ります。
- ・ なお時間内に質問ができなかった人は別途、年次大会ポータルサイト内「5/16 個人研究発表・企画セッション」（http://www.james1985.org/members_area/auth-annual/37th/auth/auth-meeting.html） ページ内の Google フォームから質問内容を送信することもできます。
質問内容は実行委員担当者が発表者ごとに取りまとめ、発表者にデータとして送られます。
これに基づいて、発表者が各質問者に対して直接メールで連絡を取って回答を行います。

研究発表の終了

質疑応答が終わると、研究発表の終了となります。

なお Zoom には拍手機能があります。会を盛り上げる為にも、拍手の意を伝える為に「拍手」ボタンをクリックしましょう。

同じミーティングルームで行われる次の発表に参加したい場合は、そのままお待ちください。別のミーティングルームで行われる研究発表に参加したい場合は、ポータルサイト内「5/16 個人研究発表・企画セッション」のタイムテーブルより、希望するリンクに入室下さい。

オンラインミーティングからの退室

研究発表終了後、マイクとビデオをオフにします。

「ミーティングを退出」よりミーティングルームを退出します。